

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	道路舗装補修事業	会計	一般会計	事業No.	578	施策順No.	44-012
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-2-11-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	44 交通機関と道路の充実		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	舗装済市道						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	舗装延長:km(管理係資料による)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	道路舗装の不良か所を補修することにより、安全で円滑な交通を確保する。							
	対象をどう変えるか	舗装補修実施か所数:か所	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
			239	347	373	246	396	300	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		補正予算と交付金事業の追加により、目標を上回る舗装補修ができた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	破損した舗装か所や老朽化した舗装を補修し、快適で安全な交通の確保と、沿道住民の住環境の保全を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 道路舗装補修工事(オーバーレイ・舗装打替・部分補修等)(上下水道工事関連含む) 2 電源立地地域対策等交付金事業 市道2-56号線 上溝 3 H21地域活性化・きめ細かな臨時交付金 道路舗装補修工事 (柳通りほか3カ所) 4 H22地域活性化・きめ細かな臨時交付金 道路舗装補修工事 5 活力創出基盤整備事業 舗装修繕工事 測定(城東、大瀬木CBR試験)	1 補修工事数 2 補修工事数 3 補修工事数 4 補修工事数 5 委託件数	1 358カ所 2 1カ所 3 4カ所 4 33カ所 5 2カ所
23年度実施計画	1 道路舗装補修工事(オーバーレイ・舗装打替・部分補修等)(上下水道工事関連含む) 2 電源立地地域対策等交付金事業 市道1-47号 安城線 3 活力創出基盤整備事業 舗装修繕工事 (城東、大瀬木)	1 補修工事数 2 補修工事数 3 補修工事数	1 300カ所 2 1カ所 3 2カ所

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補正事項 (国)社会資本整備総合交付金(活力創出基盤整備)663千円(5.5/10)、地域活性化・きめ細かな臨時交付金31,869千円(10/10) (地)一般単独(充当率100%) (補正事項)電源立地地域対策交付金10,400千円(一般財源) 21→22繰越明許費 18,869千円 22→23繰越明許費 79,884千円
	国庫支出金		76,469	32,532		
	県支出金					
	起債		36,400	400		
	その他					
一般財源		196,281	196,324	181,200		
計(A)		309,150	229,256	181,200		
正規職員所要時間			2,000			
臨時職員等所要時間			500			
人件費計(B)			7,690			
トータルコスト A+B			236,946			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・補修要望は、毎年多数報告されている。特に近年、車両の大型化に伴うところの舗装の損傷により、大規模な補修が必要な路線が増えているため要望も多い。また、事故につながる等の緊急性も高いことから、早急な対応が必要である。 ・維持管理に関する予算確保を議会から求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産、事業者が、便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	道路舗装補修を行うことにより、道路を利用する人が安全で円滑に移動することに貢献できた。		
	後期に向けた課題	幹線道路の大規模な舗装補修が必要となってきている。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	補修依頼のあった箇所はたとえ小規模な補修であっても、安全性に問題があれば早期に現地確認・補修工事を行うことにより、依頼者や地域住民の満足を得ることが出来た。		
	後期に向けた課題	依頼箇所増加に伴い、早期の現地確認・補修工事が困難となりつつある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	補修箇所をまとめて発注することにより、コストの削減に努めた。 補修方法をオーバーレイ工法にすることにより、打ち替え工法よりコスト削減となった。		
	後期に向けた課題	打ち替え工法が必要な箇所であっても、現場に応じてコスト縮減となる工法を検討する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	道路の管理責任は飯田市であるため、適切である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	補助事業(交付金事業)を受けることにより、幹線道路の大規模な補修工事ができた。 部分的な補修をすることにより、コスト縮減と安全、住民の満足を確認することができた。		
	後期に向けた課題	交通量の増加や車両の大型化に伴い、幹線道路の舗装の劣化が進んでいるため、補修費の増加が予想される。 部分補修は将来的には全面補修をする必要があるため、今後も補助事業を積極的に要望する必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------